



広報

りしり

平成8年

1月号

No.299

迎春



■人口と世帯■

世帯数	1,376	(+1)
人口	4,496人	(-3)
男	2,238人	(±0)
女	2,258人	(-3)

平成7年11月末日現在
(住民基本台帳登録人口)

■おもな内容■

- 2～7…年頭にあたって
- 8………受賞おめでとうございます
民生・児童委員委嘱される
- 9～13…お知らせ
- 14………わが家のアイドル
- 15………りしりの博物誌(利尻の語り◎)
- 16………消防だより
- 17………戸籍のうごき
- 18………今年は子年

交通事故死ゼロ記録1月1日現在528日

新年 賀 謹

年頭にあって

利尻町長 糸谷 克明



明けましておめでとうござ
います。

平成八年の新春を皆さん健
やかに迎えのことと存じ、
心からお喜び申し上げます。
平素町民の皆さんには、町
政各般にわたり暖かいご支援
ご協力をいただき、厚くお礼
申し上げます。

平成七年度の各種事業は、

お陰をもちまして計画どおり
進捗しております。

平成七年は、ご承知のとおり
国内で大きな事件がありま
した。

地方政治では、東京、大阪
の両首長選挙で無党派候補が
当選、経済分野では、円高に
よる産業空洞化、貿易赤字の
日米経済摩擦。

景気は緩やかな回復の見通
しとのことだが、さっぱり回
復の兆しがみえない。

まさかの金融危機が、中小
のみならず大手銀行も国際金
融市場から信用不安の懸念を
もたれる。

阪神大震災では数多くの尊
い人命が失われました。

又、三月には地下鉄サリン
事件が発生、特異な集団の社
会への挑戦で大きな衝撃を受
けました。

昨年十月一日調査の国勢調
査で私共の町は、又十三%の
人口減が見込まれています。

漁業従事者が減り後継者が
いないためです。

他産業に比較してそれ以上の

所得があること、労働時間が
短縮されなければならないこ
とが最低の条件です。

昨年も漁業は不振でした。

水産資源は、再生産するこ
とができるが、漁獲方法の発
達により漁獲し過ぎると資源
の枯渇を招きます。

今、国では、国連海洋法条

約の批准に向けて資源の量的
管理を進めようとしています。
又、磯やけ対策については、
企業、国、道、大学で構成し
ているマリノフォーラム21と

いう社団法人が昨年から利尻
島周辺を調査し、磯やけ原因
をつきとめ、この対策を三ヶ
年かけて行う予定です。

町のウニ種苗センターから
五ミリ種苗五〇〇万粒採出し、
中間育成後三五〇万粒の種苗
を海中に入れました。

又、餌料作りの促成昆布種
苗センターも整備いたしました。

あとは漁民皆さんの実行の
みで、二、三年後生産量が増
大するものと期待しています。

第二の産業といわれている
観光については、景気の低迷

から北海道が全般的に落ち込
んでいますが、利尻・礼文・
サロベツは、むしろ増加傾向
にあります。

昨年杵形港のフェリーの体
制が変わったことにより、前
年度の三・三倍、五万人の利
用者がありました。

今後この航路が定着するこ
とにより、ターミナルの建設
を始め、宿泊施設の増加や漁
業とリンクした観光産業の方
向づけが是非必要であると考
えます。

昨年、堀知事さんが来町の
際、島の女性が安心して子供
を出産できる施設をと、行政
町民から要請いたしました。

是非、本年実現できるよう
計画を進めております。

自主財源の乏しいなか町民
のいろいろな要望にこたえ、
産業振興、公共事業の誘致、
保健、医療、福祉の充実と若
者対策、下水道の建設を進め
てまいります。

本年も、町民の皆さんのご
健康と、ご多幸をお祈り申し
上げ年頭のあいさつといたし
ます。

謹賀新年

年頭にあたって

利尻町議会議長 岡田 一雄



町民の皆さん、明けましておめでとございます。

平成八年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日頃町民の皆様方から、格別のご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

本年も心新たに、議会議員としての職務に全力を尽くす決意でありますので、何卒よろしく願ひ申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、国内経済はバブル崩壊の後遺症に加え、一月には阪神・淡路大震災や、急激な円高等の影響により景気の足踏みが続き、国においては、五月には緊急円高経済対策と、そのための補正予算、さらに九月には事業規模として史上最大の総額一四兆二、二〇〇億円にのぼる経済対策が実施されましたが、依然として景気回復の目途がたないまま新しい年を迎えました。

一方、本町においては、基幹産業である漁業についても一段と厳しいものがありました。鮮魚の価格の低迷、根付

漁業であるコンブ・ウニについては資源の減少、枯渇等と全般的に不振でありました。

特にウニ漁については、近年になく凶漁となりましたが、一昨年完成したウニ種苗生産センターの有効利用を図り、町・漁協・漁業者が一致協力し、種苗の生産から放流、漁獲まで徹底した管理を行い、ウニ資源の回復に努めることが緊急課題となっております。又、高齢化問題についても深刻であります。

人生八〇年という長寿社会の中で、本町においても年々高齢者人口が増加しており、老後をいかに健康で生きがいをもって暮らすことができるか、これを町政に反映させることが必要であります。

現在、高齢者の生きがい対策として特別養護老人ホーム「ほのぼの荘」を中核として、保育所の改築をはじめ昨年はふれあい公園の整備等、福祉の拠点造りを進めております。これからも議会として高齢者に対する施策を強調して参りたいと存じます。

内外ともに厳しい平成七年でありましたが、議会で議決されました各種事業については、計画どおり進められ成果をあげられておりますことは、町理事者をはじめ関係各位の努力は勿論であります。町民皆様の町政に対するご理解とご協力の賜と深く感謝申し上げます。迎えた平成八年も本町にとって課題の多い年であります。私も議会議員は、町民の代表として豊かな町づくりのため、どうあるべきか、町民は何を求めているのか、を真剣に考え積極的に行政に反映させるべく全力を挙げ取り組んで参りたいと存じます。

どうか、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新年 謹賀

年頭にあたって

北海道知事 堀 達也



道民の皆さんに、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年、多くの皆さんのご支援をいただいで知事に就任して以来、私は、この北海道を創造力と活力に満ちた地域社会にするため様々な施策に取り組んで参りました。この間、皆さんからいただいたご支援とご協力が心からお礼を申し上げます。

いま世界は大きな転換期を迎え、国内でも地方分権など変革の波が

押し寄せています。それに伴い、地域における政策主体としての道庁の在り方が問われ、変革の時代に挑む道職員の数と能力が求められています。しかし、こうした中で道庁における一連の不正経理などの問題により、道民の皆さんの信頼を著しく損ねる事態となつてしまったことは誠に残念であり、大変申し訳なく思っております。いままでもなく、道政は多くの方々の理解と協力がなければ何とも成し得ませんし、また、北海道の未来は道民の皆さんとの信頼の上に築かれるものであります。今回の事態に対し、私自身を含め道職員一人ひとりが深く自戒し、徹底して意識改革を図り、一つ一つの仕事に真剣に取り組み、新しい道庁として再生していくことが信頼回復につながる道であると考えております。私としては、今年こそが真の意味での堀道政離陸の年となるよう、道民の皆さんの声を真しに受け止めながら、気持ちも新たに道政の推進に全力を尽くす決意であります。

私たちの住む北海道は、恵まれた自然とゆとりの空間をあわせ持つ未来に開かれた大地です。特に北国の森は、私たちに快適さとゆとりをもたらし、豊かな海の恵みをはぐくんでくれます。私は、地域に住む皆さんのご協力を得ながらミズナラやブナなどの広葉樹を増やし、ふるさとに百年前の森を復元したいと考えています。また、そこに住む野生生物の保護や快適な環境の維持などを定める

環境基本条例を制定し、環境に關する総合的なマネジメントを行う中で、この北海道に、日本はもとより世界のモデルとなる環境重視型社会を築いていきたいと思っております。

ボーダレス化の進展や社会システムが見直される中で、輸入の自由化や規制緩和、市場の成熟化など、産業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした状況を乗り越え、本道経済を活性化していくためには、創造性あふれる産業を育てていかなければなりません。世界の最新情報の収集に努めるとらえ、新しい産業分野の創出、新市場の開拓などに積極的にチャレンジする企業を支援して参りたいと思っております。

また、農産物の輸入自由化や新食糧法の施行、あるいは国連海洋法条約批准の動きなど、一次産業にも変革の波が押し寄せ、本道の農林水産業も厳しい状況が続いています。こうした中、昨年、関係の皆さんの努力により食味に優れたお米「ゆきまる」の発売を開始し、好評を得ております。これまで培った技術力をさらに伸ばし、競争力を高めるとともに担い手の育成にも努めながら、新しい時代に向けて力強く発展する農林水産業を築いて参りたいと思っております。昨年の調査で、本道観光の総消費額は波及効果も含め約一兆六千億円にも上ることが明らかになりました。優れた自然景観や豊かな食材といった魅力に一層磨きをか

けるとともに、雪や牛乳の「ホワイト」と緑豊かな自然の「グリーン」をイメージカラーとしてアピールし、東南アジアなど海外からのお客様の誘致にも積極的に取り組んで参ります。同時に、この世界の成長センターといわれるアジア諸国に目を向け、将来を見据えた経済面での交流にも取り組んで参りたいと思っております。

価値観の多様化が進む中で、様々な人々がともに支え合いながら、いきいきと生活できる社会づくりが求められています。医療・保健、福祉の充実にも努めるとともに、九月に開催される「ゆうあいピック北海道大会」をぜひ成功させたいと思っております。また、戦後半世紀が過ぎましたが、平和な環境づくりや世界各地との交流に道民の皆さんと一緒に取り組み、世界とともに歩む北海道を築いていきたいと思っております。

あと五年で二十一世紀の幕が開きます。これからの五年間は、二十一世紀に向けての重要な助走の時となります。その大切な一歩となる今年、私としては、まず道政改革にしっかりと取り組むとともに、変革の時代をしっかりと見据え、地域を重視する姿勢で、北海道をさらに「魅力あふれる大地」とするために、勇気を持って取り組んで参りたいと思っております。皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。新しい年が、皆さんにとって、また北海道にとってもより良い年になることを心から願っております。

謹賀新年

平成八年の 新春にあたって

宗谷支庁長 湯 浅 国 勝



宗谷の皆様、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。新しい年がご健康で、希望に満ちた年となりますようお祈りいたします。

はじめに、道庁における一連の不正経理などの問題により、道民の皆様にも多大なご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。今後、このようなことがないよう、私はじめ職員一人ひとりが心を新たに一つ一つの仕事に取り組んでまいりま

す。

昨年四月に北海道とサハリン州の架け橋として、稚内とコルサコフ間に定期航路が開設され、十二便が運航し一、七六〇名の方々が利用されました。

五月には新たに関西直行便も就航しました。平成七年度の観光客の入れ込み数は、こうした効果などもあり、四〇〇万人台が見込まれます。

このように道内外、さらにサハリンとの交流が深まりを見せてきております。

また、地域と支庁が一体となった地域づくりを進めることを目指して行われた、「宗谷の風おこし懇談会」や「宗谷地域・北海道の将来を考える会」、また「知事のふれあいトーク」等を通して、地域の様々な分野でご活躍されている方々から貴重なご意見やご提言をいただきました。このような場で賜りましたご発言につきましては、今後、具体的な形にするよう努めます。また、今年には五年後に迎える「二十一世紀に向けた準備の

年」になりますので、これから策定します「北海道の新しい総合計画」に地域重視の姿勢を大切にして、個性的で活力ある宗谷の振興方策として反映させてまいります。

人と物の交流を一層活発にし、産業の振興やより良い生活を確保するため、陸、海、空の交通網の充実に努めます。そして、交通事故をはじめあらゆる事故や災害のない「安全が保たれる年」になるよう心を配っていききたいと存じます。

宗谷の子供から高齢者まで、また、障害をお持ちの方もそうでない方も一人ひとりがその能力を活かし合って、助け合いの気風がすみずみまでいきわたる「安心できる年」となるよう努めてまいります。安心して子供を出産できる環境を整えることをはじめ生涯を通して保健、医療、福祉サービスの充実が図られるよう努力してまいりたいと考えっております。

農林水産業をはじめ、商業、観光、建設業が宗谷の特

性を活かし一層「明るく元気の出る年」となるよう努めてまいります。将来を展望した産業基盤づくりに次代にリードする若者の意欲も大きく活かせるようにしていきたいと思います。

高齢者や女性のグループ、あるいは福祉施設で生活されている人々の手によって、苗を育てまちは花や緑で飾る取り組みも広まってきております。地域で暮らす人にも宗谷を訪れる人々にとっても、グリーンでグリーンな「美しいまちにしていく年」となるよう、みんなで取り組んでいきたいと考えています。

また、感性豊かな子供たちをはじめ多くの方が文化活動に親しめる機会が増えるよう努めてまいります。

本年も活力ある宗谷のために、皆様をはじめ関係機関や団体の皆様のご協力をいただきながら全力を傾けてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたしま



謹賀新年

い申し上げます

平成八年 元旦

町長 糸谷 克明

助役

田島 順逸

特別養護老人ホーム施設長

柴田 喜義

教育委員会次長

米本 末松

ホテル利尻総支配人

斎藤 俊明

収入役

佐々木 捷昭

砕石事業所長

松田 実

仙法志支所長

上田 紀宏

建設課長

澤谷 勉

教育長

五十嵐 国夫

商工観光課長

保野 洋一

水産課長

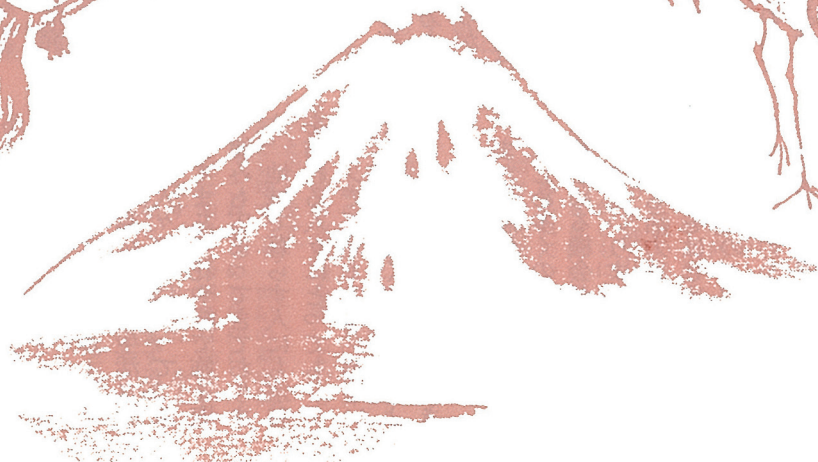
富樫 昇

民生課長

大島 正治

総務課長

笹原 喜一





謹んで 新春をお祝

利尻町議会

議長 岡田 一雄

副議長 大窪 松夫

事務局長 寺山 明	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員
	西島	浜岸	岩島	白取	塩田	吉田	畑宮	藤井	草間	名達	加藤	惣万	浜田
	松		秀夫	記夫	秀哉	欽哉		信公	時光	直蔵	純一		照栄
	雄	正	夫	夫	哉	哉	公	幸	光	蔵	一	優	栄美

(議席順)

利尻島国保中央病院

院長 西野 徳之平
 内科医長 大西 浩貴
 外科医長 青木 貴徳

看護婦長 堀田 るり子	放射線技師長	事務長	医 師	医 師	出張医
	大山	後藤	山本	遠藤	札幌医大産婦人科
	山	藤博	本裕	藤俊	
	孝明	博之	裕之	俊明	

利尻礼文 消防事務組合

消防署長	消防課長	総務課長	消防長
不破	蔵	中	小
忠	昭	村	坂
雄	南	謙造	俊市

受賞おめでとうございます

親子で人命救助

北海道社会貢献賞受賞

(海難救助功労者)

沓形字緑町

加嶋 幸一さん
加嶋 幸隆さん

昨年五月に発生した、沓形沖での海難事故において乗組員を冷静な判断と迅速な行動により救助したことが認められ北海道知事より北海道社会貢献賞(海難救助功労者)が贈られ去る十二月六日、糸谷町長より伝達されました。



民生・児童委員

十六名委嘱される

民生・児童委員の一斉改選期に当り、十二月一日付で新たに厚生大臣・北海道知事及び利尻町長からそれぞれ委嘱状が交付されました。

委嘱されました民生・児童委員の方々は次のとおりです。

また、主任児童委員については平成六年一月一日付で、厚生大臣・北海道知事及び利尻町長より海老名サダ子さんへ委嘱されています。

担当地区名	委嘱者名
仙法志字御崎	吉子
〃 元村・本町一部	正京良
〃 本町	海木藤口
〃 神磯・政治	鳴上工浜
〃 長浜	野田
〃 久連	牧益角
沓形字蘭泊	吉子イ子
〃 神居	戸部勝和弘
〃 泉町1・2	成松野村
〃 泉町3・4	中横野浦
〃 本町	横三佐小
〃 緑町	敬征和孝
〃 富士見町	柳端
〃 日出町	
〃 種富町	
〃 新湊・栄浜	

『古新聞・雑誌の回収にご協力ありがとうございます。』

古新聞・古雑誌の回収事業は、平成3年度から毎年4回実施しており、平成7年11月15日の回収迄の分で約75トン販売し、約100万円の収益を得ることができました。これも偏えに、自治会長さん始め町民皆様のご理解、ご協力の賜と感謝お礼申し上げます。この収益金は社会福祉事業の貴重な財源として有効に活用させていただきます。今後ともよろしくご協力の程お願い申し上げます。

(利尻町社会福祉協議会)

お知らせ

所得税確定申告・住民税申告の準備をすすめていますか

確定申告は、納税者自らの手で、その年の1年間の所得の金額と、それに対応する所得税を計算し、その年の翌年2月16日から3月15日までの間に申告し、納税をする手続きです。

当町においてもこの申告期間に住民税の申告受付と所得税の確定申告を受けつけします。

(今年は2月5日～3月15日までの予定)

納税者の方は“税”への関心をより深め、適正な申告ができるよう、申告の準備を余裕をもって進めましょう。(総務課税務係)

項目 種別	申告前の準備	申告時の持参	その他
漁業者	<ul style="list-style-type: none"> 販売物の精算書の確認 経費等の領収書及び明細書を項目ごとに整理 上記を帳簿等に記帳 <u>償却資産申告書、賃金支払調書を1月31日まで提出</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 保険証(家族の名前、生年月日等を明確にするものであれば他のものでもよい) 印鑑 生命保険、火災保険の領収書 申告前に準備した精算書、領収書、帳簿等 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業の他に給与所得(出稼ぎ日雇等)がある方は源泉徴収票を持参
営業者	<ul style="list-style-type: none"> 売上金額を月毎に集計 仕入書の確認 経費等の領収書及び明細書を項目ごとに整理 上記を帳簿等に記帳 	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 小売店については棚卸しを必ず年1回行うよう心がけて下さい。
給与所得者	<ul style="list-style-type: none"> 源泉徴収票を失くさないよう保管 	<ul style="list-style-type: none"> 上記の他、源泉徴収票 	<ul style="list-style-type: none"> 通常は年末調整によって申告は不要ですが、2ヶ所以上から給与を受けている人、1ヶ所から給与を受けて給与の他に所得がある人が申告をしなければなりません。
医療費控除の方	<ul style="list-style-type: none"> 医療費の領収書を整理 医療費に該当しないものがないか確認 交通費がある場合はノート等に整理 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費の領収書 印鑑 給与所得者は源泉徴収票 	<ul style="list-style-type: none"> 支払った医療費が10万円以上で10万円を越えた金額が控除されます。
住宅取得控除の方	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の登記簿謄本若しくは抄本、建築工事の請負契約書、売買契約書 住民票 償還金等年末残高証明書 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の書類 	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる住宅はほとんどですが、一定の要件がありますので事前に税務係にお問い合わせ下さい。

「戸籍謄抄本等の 交付手数料が変わります」

平成8年1月1日から、戸籍の謄抄本等の交付に要する手数料の額が改定されます。

— 戸籍手数料一覧表 —

申請内容	手数料額	
① 戸籍の謄抄本又は記録事項証明書	1通	450円
② 除籍の謄抄本又は記録事項証明書	1通	750円
③ 戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件	350円
④ 除籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件	450円
⑤ 届出・申請の受理証明書又は届書その他の書類の記載事項の証明書	1通	350円
⑥ 上質紙を用いた受理証明書 (婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁又は認知の届出)	1通	1,400円
⑦ 届出その他の書類の閲覧	書類1件	350円

※詳しくは、民生課町民係へお尋ねください。

☎4-2345番

新たに米の販売を希望される皆様へ！

- 平成7年11月1日から新食糧法（主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律）が施行され、これに伴い、登録卸売業者等から米を仕入れて販売する場合には、知事の登録を受けることが必要となります。
- 旧食糧管理法に基づき知事の許可を受けている販売店の皆様につきましては、引き続き平成8年6月までは知事登録の店とみなされますが、平成8年4月には新たな登録申請手続きが必要となります。
- 新たな登録については、農林水産省令により登録は毎年6月1日に、登録申請期間は4月1日～4月30日と定められました。（登録の有効期間は3ケ年です。）
- したがって、新食糧法施行後、最初の登録は

▲登録申請期間：平成8年4月1日～4月30日
 ▲登録期日：平成8年6月1日
 ▲登録申請先：宗谷支庁農務課（農産係又は農業改良係）

となりますので、お知らせします。

- 新規登録に係る手続き等につきましては、宗谷支庁で行うことになり、申請手数料は、今まで現金で納められていたものが、北海道収入証紙によることとなります。
 なお、申請手数料は、店舗1軒につき9,000円、支店がある場合、1店舗増える毎に5,000円となります。
- 詳しいことを知りたい方は、下記までお問い合わせください。

宗谷支庁農務課（農産係又は農業改良係） ☎（0162）23-2510
 利尻町役場（商工観光課商工観光係） ☎4-2345

冬期間の食中毒にも 注意しましょう！

北海道にも冬が訪れ、寒さの厳しい季節となりました。もう暖房を焚いている家庭がほとんどだとおもいます。外気温がマイナス温度になっても室温は二十℃以上となり、食中毒が発生しやすい温度になっています。

また冷凍状態の食品にもカビの発生が認められたり、〇〇五℃でよく繁殖する食中毒菌の存在など、微生物の多種多様な繁殖が証明されています。

食中毒を予防するために次の点に注意しましょう。

一、いづし・漬物の衛生

□魚肉・魚卵や野菜は新鮮なものを使用し、よく洗って泥や砂を落とすこと。

□魚の血抜き・水さらしは水を使うなどして低温で行い、頻繁に水を換えること。

□使用する樽や容器は必ず消毒すること。

□こうじや食酢・食塩は十分に使用し、できるだけ低

温で清潔な場所で漬け込むこと。

□バターが腐ったような不快臭（酪酸臭）がする時は食べないこと。

二、清潔・迅速・冷却（加熱）の食品衛生三原則を守りましょう。

利尻町地区の ゴミ収集日

●燃えるゴミの収集日

火・木・土曜日

◎燃えないゴミの収集日

杏形地区・・・水曜日
 仙法志地区・・・金曜日

※一月六日より平常業務となります。

粗大ゴミの収集について

粗大ゴミの収集は、各地区毎に月二回と決めて収集しておりますが、冬期間（一月から三月）の収集はいたしませんのでご了承願います。

※お問い合わせ
 ゴミ焼却場

☎二一―二四二

宿泊施設「ホテル利尻」 利用料の割引について

日頃町民の皆さまには「ホテル利尻」をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、ホテル利尻では日頃皆さまのご利用に対するお礼と健康を保ち、休養して体力の回復を図るため、本年も町民に限り次により宿泊利用料の割引をすることに致しました。

この機会に町民皆さんが多数ご利用くださるようお知らせ致します。



「和室」

- 一、割引期間
平成八年一月六日(土)から平成八年三月三十一日(日)まで。

二、宿泊利用料

一人 五、〇〇〇円

(一泊二食・税込)

三、その他

割引期間中、大浴場は薬湯浴と致します。

宿泊のチェックインは午後三時、チェックアウトは午前十時です。

ご予約申し込みは、

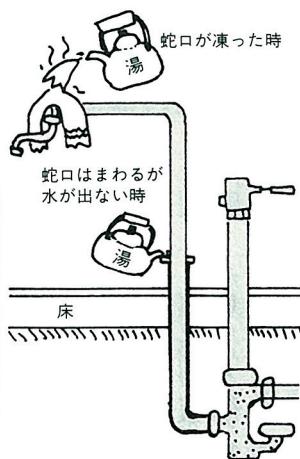
ホテル利尻

☎ 四一二〇〇一番



「岩風呂」

簡単な凍結水解除法 立上り管、横管の凍結



※始めに蛇口の方から配管づたいにゆっくりお湯をかけ床下の所に多めにかけて下さい。

もし凍結したら、タオルか布きれを巻いてお湯をかけてみてください。
お湯をかけ、少しでも水が出るようでしたら、「水おとし」を念入りにすることで防げるものが数多くあります。

◎緊急連絡先

建設課水道係

TEL 四一三三四五番

凍結したとき

凍結の度合によっては長時間不便をかけることもありまので凍結には十分注意するようご協力願います。

◎冬、水を止めるときは蛇口を全開にして水を流しながら「水おとし」を完全に閉めてください。

水道の凍結を防ぎましょう

いよいよ厳しい冬將軍が訪れ、水道の凍結が増えてきます。日中でも凍結することがありますから、十分ご注意ください。

たばこは町内で買ひましょう。



- ご旅行や用務で町外に出るときは、たばこは町内で買っていきましょう。
- たばこの消費税は町の大きな財源になっております。(毎年度、町内でのたばこ消費量により国から交付金が交付されます。)

運転免許証更新時講習会

- 1月16日(火)鬼脇公民館
 - 優良講習
午後5時30分より
 - 一般講習
午後6時30分より
- ※更新手続きをした方でなければ受講できません。
稚内警察署沓形駐在所 ☎ 4-2110



巡回職業相談開設

- 1月16~17日(仙法志・沓形)
 - 1月22~23日(鬼脇・駕泊)
- (求人・求職の受理、相談及び紹介)
(雇用保険受給資格の決定)
稚内公共職業安定所



映画観賞会

平成8年1月11日(木曜日)
午前9時30分 町民センター
午後1時30分 利尻町公民館
(ライオンツアーのうた他)

新春少年カルタ大会

平成8年1月13日(土曜日)

時 間 午前9時30分

場 所 利尻町公民館



町民カルタ大会

平成8年1月14日(日曜日)

時 間 午前9時30分

場 所 利尻町公民館

《1月10日は『110番の日』》

『110番、あなたの街の
ディフェンダー』として
正しく利用して下さい!!
稚内警察署



平成版

わが家のアイドル

37



沓形字日出町
父：秀 勝さん
母：ひとみさん

みゆき 鎌田弥夢ちゃん・みずき 瑞貴くん(3才)

旧暦の時代は野に出て若菜を摘んだものが、新暦になってからは雪深いところなどで七草をそろえることが難しく、一〜二種類の菜だけを使うこともあります。

一月七日は、七草がゆを食べる日ですね。この風習は平安時代からあったようで、『枕草子』にも登場しています。古くはセリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの春の七草を、薬(熱い吸い物)にして食べると万病を除くとされてきました。

七草がゆ

その後、七草をかゆに入れるのが一般的になりました。七草をまな板の上に置き、「七草なすな、唐土の鳥が日本の土地に渡らぬ先に七草なすなを摘みそろえ……」と唱えながら包丁やすりこぎで音を出してたくさん風習が広く行われるようになりました。鳥追いの歌のようです。



ところで最近では、七種の草をセットにして鉢植えにしたものも売っていますし、レトルトパックにした七草がゆもあります。また、七草をフリーズドライにしたものもあります。そのまま、かゆに入ればいいわけです。これをふりかけ代わりにご飯にかけて食べる人もいます。いずれにしても、七草を食して新しい年を元気で過ごしたいという気持ちには変わりはなく、いいわけです。

さて、一月二十六日は「文化財防火デー」です。昭和二十四年のこの日に、法隆寺金堂の壁画が焼損しました。この時期は火災が多く発生します。貴重な文化財を火災などの災害から守るよう、一人一人が注意しましょう。

利尻の語り(90)

産婆さん

(一)

語り 牧野 八重子さん

産婆に弟子入り

私の家は、孫爺さんが利尻は鯨がたくさんとれて景気がいいからって、父親が子どものころだっていいますから、おそらく明治の頃に利尻に来



羽藤先生と牧野さん (右) 昭和3年4月

たんです。住んだのは神磯のちようど真ん中から少し仙法志に寄ったあたりです。

産婆さんになろうとしたきっかけはね、仙法志小学校の担任だった竹中一正先生が、たしか稚内に鈴木病院っていうのがあって、その鈴木先生と竹中先生が仲良しだったんです。鈴木先生から看護婦になりたいのがないかって相談をうけた竹中先生が私に声をかけてくれたんです。その時はたしか高等科だったと思うけど、私は助産婦の資格をとろうと思ってたもんですから、そのことを話したら養成所に通わせるからということで、稚内に行きました。

試験を受けて合格したのは昭和九年十一月です。それまでは旭川の羽藤さんという産

婆さんのところに弟子入りしたんです。養成所といっても実地経験がないから、産婆さんの弟子に入ったほうがいいということだったので羽藤さんのところに入れてもらったんです。

そこで、先生といっしょについて歩いたんです。昔だから病院で子ども産むなんてことと少なくて、ほとんど自分の家でお産しましたからね。そうして三年くらい先生について歩いて実地を習いました。

その頃同じように弟子入りしていた人も五人ほどいましたけど、合格したのは私ともう一人の二人だけでした。

親が決めた嫁入り

こうして産婆試験に合格したんですけど、親がお前の嫁入り先を決めたから利尻に帰ってこいということになったんですよ。当時は親のいうことは絶対だったから、それに従って帰ってきたんです。

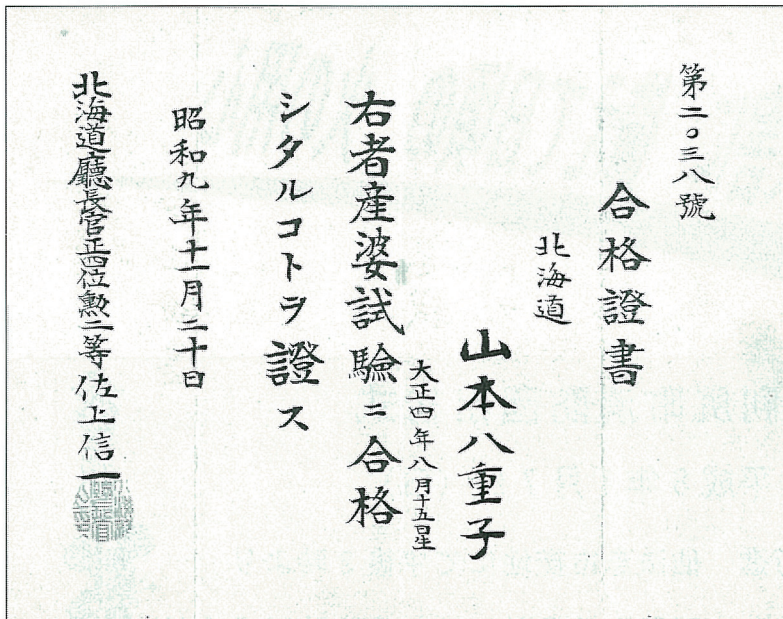
それで嫁いだのが牧野吉太郎です。私の親と牧野の親がとても仲が良くって親子みたい

なつきあいをしてたんです。それで親同士で決めてしまっただけです。

(以下次号へ)

牧野八重子(まきのやえこ)
大正四年八月十五日利尻町仙法志字神磯で生まれる。旧姓山本。旭川の産婆に弟子入り

し修行を続けながら昭和九年十一月十五日に産婆試験に合格する。昭和十四年三月牧野吉太郎と結婚。以来仙法志地域を中心に助産として活躍する。昭和五十六年の出産を最後に引退する。仙法志字神磯在住。八十才。

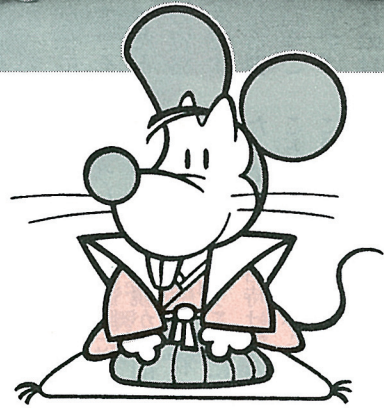


産婆試験合格証書

明けましておめでとうございます



今年も火にはウイ!ウイ!



お正月は新年会など何かと外出する機会やお酒を飲む機会も多くなり、火の取扱がおろそかになりがちです。火災の多くはちょっとした不注意から発生しています。使いなれた火に十分注意を払い、火災の無い一年にしましょう。

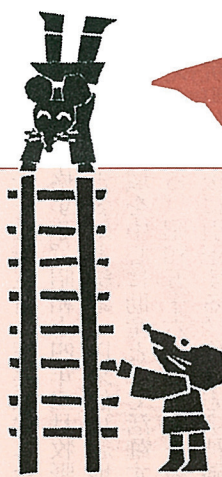
災害に備えて日頃の火の用心

利尻町消防団出初式

平成8年1月7日(日)

分列行進 仙法志市街地にて午後2時より

式典 利尻町公民館にて午後2時30分より



11月の火災・救急出動件数 火災0件 救急8件



戸籍の うへき

自11月1日
至11月30日

いつまでも

お幸せに

おくやみ

申し上げます



◎婚姻

◎婚姻
住所氏名
吉田 有子 徹

◎死亡
住所氏名 年齢
西村 勝昭 86歳
西村 信造 59歳



利尻島国保中央病院

婦人科診療のお知らせ(予定)

(期間)

- (1) 一月 八日～ 十日(三日間)
- (2) 一月 二十二日～二十四日(三日間)

(医師)

- (1) 札幌医大産婦人科医 医師 遠藤 俊明 先生
 - (2) “ ” 医師 山本 裕之 先生
- 受付は、午前中だけです。
詳しくは、利尻島国保中央病院へ問い合わせ下さい。

ご厚情に

感謝します

この度次の方から愛情銀行に金一封が預託されましたので紙上を借りてお礼申し上げます。

沓形字種富町 浜辺満様から、福祉活動費として

沓形字富士見町 西村勝栄様から、兄 勝昭様の香典返しを廃して

(利尻町社会福祉協議会)

ご厚情ありがとうございました

ございました

特別養護老人ホーム

「ほのぼの荘」

この度次の方からご厚志を賜り、厚くお礼申し上げます。

◎ご厚志

- 沢田 京子 様
- 菊地 正 様
- 成田 利実 様
- 川端 孝之 様
- 畑中 節男 様
- 駕泊 依田一夫 様

よせられた善意

この度次の方より寄附がありました。町では善意に感謝すると共に、有意義に使用させていただきます。ありがとうございました。

一般寄附金

利尻町沓形字新湊

加藤 孝三郎 様より
一金 百万円

利尻町建設協会様より

一金 三十万円

株式会社吉安組様より

一金 十万円

指定寄附金

利尻町沓形字富士見町

不破 保様より
一金 十万円



町内小中学校冬休み日程

学校名	終業式	始業式
沓形小学校	平成7年12月25日	平成8年1月20日
新湊小学校	12月25日	1月20日
仙法志小学校	12月25日	1月20日
沓形中学校	12月25日	1月20日
仙法志中学校	12月25日	1月20日

今年の子年

今年

は子年。昔は夜に
なると、ネズミが
天井裏を走り回り、チユウチ
ユウと鳴く声が聞こえたりし
たものです。最近では純粋な日
本家屋が減ってきているため
か、家屋の構造が変わってき
たからか、都会では天井裏を
走り回ったり鳴いたりしてい
るネズミは、少なくなつてき

ネズミ

たのではないのでしょうか。
ほ乳類の約半数、千七百種を
占めるといわれています。し
かも、ほぼ全世界に分布して
います。ネズミ算という言葉
もあるように、繁殖力がおう
盛で、一回に二十匹の子を生
む種類もあります。

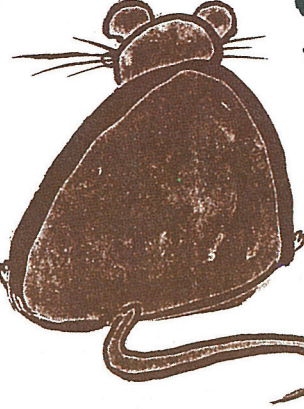
身近

な動物だけに、こ
とわざにもしばし
ば登場します。弱者でも追い
詰められると強者に逆襲する
という意味の「窮鼠猫を噛む」
や、前ぶれの騒ぎばかり大き
くて、実際の結果は極めて小
さいことの例えである「泰山
鳴動して鼠一匹」などは、よ
く知られています。「頭の黒
い鼠」とは、頭髪の黒い人間
をネズミになぞらえて、物を
盗む人のことです。「鼠の嫁
入り」は、あれこれと選んで
みても、結局は変わりばえし
ないところに落ち着くという
例えです。

人間は、昔か
らネズミの害に
悩まされていま
す。ネズミは
農作物を荒らし、
牧草地の草の根
を食べたりしま
す。イエネズミ
は貯蔵食糧を食
べ、ときには電
線やガス管をか
じって人間を困
らせたりします。
また、下水道な
どの不衛生な場
所を通り道にす
るため、伝染病
であるベストをもたらすこと
もあります。古代アテナやロ
ーマ帝国が滅亡したのは、ネ
ズミがもたらしたベストのた
めだという説もあります。一
方、ネズミの仲間でも、ハム
スターなどの種類は、実験動
物として医学の進歩には欠か
せません。



はじまる
平成八年



賢者子年

役場等の年末・年始について

次のとおり、年末・年始は休日となります。急を要することなどは、
日直者がおりますので、ご遠慮なくおいで下さい。

区分	事務納め	事務始め	摘要
役場	平成7年12月29日	平成8年1月8日	「施設の休館」 公民館 12月29日～1月3日 夢交流館 12月31日～1月5日 総合研修センター 12月31日～1月5日 町民屋内運動場 12月29日～1月3日 町民図書室 12月28日～1月6日 公民館図書室 12月29日～1月7日
仙法志支所	〃	〃	
教育委員会	〃	〃	
碎石事業所	〃	〃	
利尻島国保中央病院	(診療納め) 12月29日	(診療始め) 1月8日	12月29日は午後から休診
ホテル利尻	12月31日・1月1日・2日(休業) 6日より平常営業 浴場のみ営業1月3日～5日(午後1時～6時まで)		